

学校 番号	37	学校名	小諸高等学校
----------	----	-----	--------

平成29年度学校評議員活用状況報告書

第 3 回学校評議員会 【平成30年 2月23日（金）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 時間 評議員会 15:00～16:30
- 会場 本校大会議室
- 出席者 評議員3名、職員12名
- 次第
 - 1 学校長挨拶
 - 2 学校からの説明
(本年度の教育活動全般について、学校評価、教務、進路指導、生徒指導、生徒会、PTA活動、音楽科、各学年について)
 - 3 質疑、討論
 - 4 まとめ

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- 評議員による学校評価をいただくため、今年度の取り組みや生徒の様子について学校からの説明を丁寧に行った。
- 会議資料には、各係からの報告文書に加え、新聞記事等、日常の活動が解る資料を用意した。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- 大学入試への指導に充実を感じた。
- 地域でも生徒の活躍をよく耳にする。名前が出るのを楽しみにしている。
- 6年前から学校評議員をさせてもらっている。授業参観をしてみても、年を追うごとに良くなってきているのがわかる。生徒の取組や授業内容も充実してきている。
- 三者協議会での生徒の対応、仕事ぶりがよい。アイデア、発想が豊富であった。
- アメリカの銃社会に比べて平和な社会に幸せを感じ、生徒たちの伸び伸びと育つ様子、部活動で成果を出している状況に満足できる。
- 学校としては生徒たちのメンタル面をいかに鍛えていくか、課題と考えている。
- 市役所で勤務している際、大人も子どもも攻撃的な雰囲気が増えてきたように感じる。
- 東雲区として、2年前から生徒の通学路に街灯の設置を市に求めてきたが、設置が決まり、工事が始まった。また、学校祭の際、回覧板で広報に協力させてもらった。
- 小諸高校、野岸小学校、美南が丘小学校の音楽の成果がうれしい。地域の宝として生かしていきたい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- 様々な取組について、評議員に対して説明することは本年度の総括ともなり、次年度に向けた学校運営に関して重要な点検の機会となっている。
- 数年継続で務めていただいている評議員もいることから、人選について検討が必要である。